

フクシマからの提言

我が国は古には、天地を父母とし、山川石木に神の存在を見、生きとし生けるもの全てを敬い、自然と共に生活してきました。また一方では異国の文化をうまく受け入れながらも、戦前までは世界一清潔でありながら、エコロジカルな住まい、町、都市を実現してきたのです。

ところが我が国の近代化の中で、文明と文化を混同し、自然の摂理を超え、湯水のごとくエネルギーを多用する社会を構築してきました。3.11 東日本大震災と、それに続く福島第一原子力発電所の事故は、単に脱原発のみではなく、これまでの社会システムとの決別を意味していると考えます。今のシステムが続く限り、大量なエネルギー消費は変わらず、結果として地球に、地域に、そして人にも多大なる影響を与えることになるのです。

我々JIA 福島地域会は、日本を先導する建築家集団として、今一度この我が国のすばらしい、人に優しく、地域に優しく、地球に優しい「日本の生き方」を見直し、大量エネルギー消費に依存しない新しい社会のためのシステムの構築を目指し、ここ福島から「日本」を始めることを宣言します。

＝日本始導＝

- 今後生まれ来る子供達、そしてすべての生命のために、我々にできることは何かを常に考え、それを我々のすべての活動の行動規範とし、建築家として、そして人間としての責務を果たします。
- 万物を慈しみ、建築を大切に使い続ける心を持ち、また大切に使い続けることができる建築を心がけ、地球環境を守り続けるための責務を果たします。
- 美しい「日本」の四季の移ろいを五感で感じられ、かけがえのない地球に大きな負担をかけない、地域の自然と共に生きる、真に豊かな住宅、建築、都市のあり方、住まい方を追求します。
- 自然を大切にし、地域の気候風土にあった人間味のある、エコロジカルでありながら、快適で健康的な、住宅、建築、都市に係わる技術の研鑽に励みます。
- 新しい社会システム構築のために、これらの地球に、地域に、そして人に優しい技術や、住宅、建築、都市のあり方、住まい方の普及につとめ、ここ福島から全国に、そして世界に発信します。

(社) 日本建築家協会東北支部福島地域会 会長 辺見美津男